仕 様 書

本工事は、国宝、重要文化財を含む多くの文化財を収蔵、展示する奈良県立橿原考古学研究所附属博物館（以下「博物館」という）の老朽化した電灯分電盤改修をおこなうものである。改修は、漏電時の遮断機能等、安全機能が十分に作動しないことによる火災発生の恐れを解消し、文化財、来館者に安心・安全な施設とすることを目的とする。

1 工事名称等

工事名称：奈良県立橿原考古学研究所附属博物館館内電灯分電盤改修工事

工事場所：橿原市畝傍町 地内

工 期：契約日から令和7年3月31日（月）まで

2 総則

(1) 適用範囲

受注者は、設計図書（図面、入札説明書、仕様書、設計図書に対する質問回答書）に従い、責任をもって履行する。

(2) 官公署その他への届出手続等

工事の着手、施工及び完成に当たり、関係法令等に基づく官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を直ちに行う。

届出手続等を行うに当たり、届出内容について、あらかじめ監督職員に報告する。

(3) 書面の書式及び取扱

書面を提出する場合の書式は、公共建築工事標準書式によるほか、監督職員との協議による。

施工体制台帳及び施工体系図については、建設業法（昭和24年法律第100号）及び公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（平成12年法律第127号）に基づき作成し、写しを監督職員に提出する。

(4) 疑義に関する協議

図面及び仕様書に内容の相違がある場合または疑義が生じた場合には、監督職員と協議する。ただし、軽微なものについては監督職員の指示に従う。

(5) 軽微な変更

現場の納まりまたは取合い等の関係で機器及び材料の取付位置、または取付工法の変更などの設計変更を必要としない軽微な変更は監督職員の指示に従う。

(6) 発生材の処理

発生材のうち、発注者に引渡を要するもの以外はすべて関係法令等に従い適切に処理し、監督職員に報告すること。

3 工事関係図書

(1) 施工計画書

受注者は、工事目的及び工事内容を理解した上で、契約締結後、工事の着手に先立ち、速やかに施工計画書を作成、監督職員へ提出し、承諾を受けること。

なお、施工計画書には次の事項を記載するものとする。

・ 工事概要 ・ 安全管理体制表 ・ 施工体制台帳 ・ 工程表 ・ 使用材料

(2) 工事写真

作業前後及び作業中の写真を撮影し、整理のうえ提出する。

4 工事現場管理

(1) 施工管理

設計図書に適合する工事目的物を完成させるために、施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行う。

工事の施工に携わる下請負人に、工事関係図書及び管理職員の指示の内容を周知徹底する。

(2) 施工条件

①施工日及び施工時間は、次による。

ア) 施工対象が博物館展示室の各種照明制御に関わる分電盤であるため、施工日は原則として、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館管理運営規則（令和元年11月19日奈良県規則第22号）に定める休館日とする。ただし、停電を伴わない工事など、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。

イ) 施工時間は原則として9時から17時とする。

②養生

機材の搬入や工事の実施に当たり、機材及び建築物その他設備について、汚染または損傷しないよう適切な養生を行う。なお、建築物その他設備に損傷を与えた場合はすべて受注者の責任において対処する。

③整理、清掃、後片付け

工事に際して、当該工事に関連する部分の後片付け及び清掃を行う。

(3) 施工中の安全確保

① 建築基準法（昭和25年法律第201号）、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）その他関係法令等に基づくほか、建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）（平成5年1月12日付け建設省経建発第1号）及び建築工事安全施工技術指針（平成7年5月25日付け建設省営監発第13号）を踏まえ、常に工事の安全に留意し、施工に伴う災害及び事故の防止に努める。

② 気象予報、警報等について、常に注意を払い、災害の予防に努める。

5 施工

(1) 一般事項

①施工

施工にあたっては、当該施設の執務に支障のないよう工程を組み、やむを得ずそれらに支障が生じる場合には事前に監督職員に報告し、調整を図ること。

施工は、設計図書に従って行うが、これらに明示していない事項でも、施工上技術上当然必要と認められる事項については、受注者の責任において行う。

②使用材料

本工事に使用する製品および諸雑材は、JIS規格又は各々それに合格した品質優良な新品とし、監督職員に了承を得ること。

③別途工事への協力と調整

契約期間中は、当該施設において施設改修にかかる別工事（排水管改修工事）を実施する予定であり、施工者は別途工事の施工に協力すると共に、円滑な工事進捗が行われるよう調整すること。

④工事写真

本工事施工については、工事写真、竣工写真を撮影すること。

⑤軽微な変更

機能上、構造上当然必要と認められる軽微なものは、監督職員と調整の上、本工事請負金額内で施工すること。

⑥完成渡し・取扱説明書の作成

工事完成に際しては、あらかじめ検査を行ったうえで監督職員に報告し、監督職員が完成検査を行う。

交換、また新規取り付けする分電盤等の製品は、製作年月日、機器番号等の表示を監督職員が指示する箇所に付し、別にその使用法、注意事項等の説明書を取りそろえて提出すること。

⑦工事保証

施工者は、工事完成後でも工事の不完全納入品の欠陥に起因する故障は、一年間の保障の責任において直ちに修理または良品と取り替えること。

⑧工事負担金

工事時の電力及び上水等は、当施設のものを使用できるものとする。

⑨既設機器の撤去

指定した既設機器の撤去および廃棄は、法令に基づき適正に処分すること。

(2) 工事概要

博物館館内の電灯分電盤設備を下記のとおり改修する。（別紙明細および、分電盤位置図、現況写真を参照）

①工事箇所

- a. 分電盤 1L-4（展示倉庫A内）
- b. 分電盤 1L-5（展示倉庫B内）
- c. 分電盤 1L-6（展示倉庫C内）

②工事内容

下記の通り、既存電灯分電盤の改修をおこなう。

- a. 既存分電盤の内機のみ改修をおこなう。
- b. 回路数、制御方法は既存に準じる。
- c. 各分電盤の1次側、および2次側の配線は既存を流用する。

※現地調査の上、製作図を作成し、監督職員の承認を得た上で施工すること。

(3) 機器仕様

既設品の仕様に関しては設計図書等のとおり。なお、取替・交換・代替品の仕様に関しては、5

(1) 一般事項②使用材料に記載のとおりとする。

6 工事検査

(1) 工事完成通知

契約書に基づく工事を完成したときの通知は、次の①及び②に示す要件の全てを満たす場合に、監督職員に提出することができる。

①監督職員の指示を受けた事項が全て完了していること。

②「7 完成図書」の整備が全て完了していること。

(2) 工事検査

(1) の通知に基づく検査は、発注者から通知された検査日に受ける。

(3) 工事引渡

(2) の検査に合格した場合は、成果物を発注者に引き渡すものとする。

7 完成図書

(1) 完成図書

工事完成時には下記書類を監督職員へ提出し、承諾を得ること。

- ・工事完了報告書
- ・竣工図（2部）
- ・工事写真
- ・使用機器図
- ・マニフェスト
- ・その他監督員が指示するもの

8 その他

(1) 守秘義務

業務上知り得た内容は、他に漏らしてはならない。